
「当院における人工膝関節全置換術後の在院日数に影響する要因の検討」

に関するお知らせ

このたび、診療録からの患者情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年4月1日から2025年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター6階西病棟において、初めて人工膝関節全置換術を実施し自宅退院となった患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

近年医療費の適正化を目的に在院日数の短縮化が求められていることから、術後患者の早期退院に向けた取り組みが必要とされています。2024年度に当院で実施した手術では、人工膝関節全置換術(TKA)が115例と一番多く、TKAにおいても術後2週間を目標に早期退院に向けた取り組みを行っています。術後は、杖歩行と階段昇降が自立となれば退院可能としておりますが、中には在院日数が長期化する症例が存在します。そこで、在院日数の延長に繋がる因子の知見を得て、在院日数の更なる短縮化に向けた取り組みに繋げることを目的としております。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、Body mass index (BMI)、術前のADL、家族形態、介護者の有無、要介護認定の有無、要介護度、認知症の有無、入院日数、術前の膝関節可動域、術前・術後それぞれの初回リハビリ時

NRS（安静時、体動時）

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター6階西病棟において、研究責任者である田中 大雅が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

人工関節全置換術を施行された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 看護師 田中 大雅（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 副看護師長 菊地 あゆみ
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 看護主任 本橋 奈津紀
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 看護師 水川 愛理
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 看護師 荻原 未悠
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 看護師 茂木 美紗江

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 田中 大雅

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3634（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：tanaka.taiga.491@1985.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当院における人工関節全置換術後の在院日数に影響する要因の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 田中 大雅